

どこよりも「室名札」に誇りを持ち どこよりも「最短」でお届けし  
どこよりも「楽しく」笑顔で仕事をするそれが 株式会社 フジタです。



フジタがご提案した納入事例やサインの様々な事を情報誌を通して、ご紹介致します。

## 納入実績

### ホテルニューオウミ

居室サインと銘板を製作しました。

今回ご紹介するのは、滋賀県近江八幡市にある「ホテルニューオウミ」です。

居室フロアのナンバープレートとレストランの銘板を納めさせていただきました。

居室フロアのサインは、サイズ横90mm×縦400mmの縦長の木製板にUV印刷を施し、裏面はスライドロックを取り付けた物となりました。世の中の多くのサインは正方形や横向きの長方形の物が多く、フジタのカタログに掲載されているサイズもそれらがかなりの割合を占めています。私の個人的な感覚では、以前からその事にかなり違和感を持っており、なぜなら、室名札は扉（縦長）の横に取り付けられることが多いと思いますが、それに対してサインは正方形や横長がほとんどです。これは建具や空間に合わせたサイン作りをしているのではなく、表示内容に合わせたサイン作りをしていることから、この矛盾が起こっているのだと以前から感じておりました。（※私個人の主観です。（笑））

しかし今回の居室サインを見て、私の個人的な考えは間違っていないのではないかと感じさせられました。照明・インターホン・サイン・建具がとてもバランスよく並んでおり、見ていて気持ちがよかったです。今回の経験を活かし、今後はさらに縦長のサイン推しでいこうと思います。

そして銘板は縦長ではありませんが、とても高級感のあるものになりました。

アクリルの切文字にゴールド塗装を施しており、厚みは大きな文字が10mm、小さな文字が2mmとなっております。真鍮や金メッキなど、金色の文字にもいくつか種類がありますが、錆の問題やサイズ・厚みなど様々な点を考慮し、今回の仕様となりました。

照明に照らされ、重厚感あるデザインが高級感漂う空間演出をしています。次はプライベートで訪れたいと思います。

京都本社：高井 慶一





# 納入レポ！ 「希望ヶ丘保育園」



今回ご紹介させて頂くのは、奈良県生駒郡三郷町にある「希望ヶ丘保育園」様です。

希望ヶ丘保育園様は、本園のほかに第2保育園も運営されています。集団生活の中で、ひとりひとりの能力を最大限に発揮させ、豊かな人間性を持った子供を育成することを目標とされています。

この施設は住宅街の中にあり、敷地も広くお子様達が伸び伸びと楽しく過ごされています。

今回納めさせて頂いたのは、アルミフレームのFR案内板とマットアクリルサインのGFプレート、スクールサインのSPプレートです。既存のサインは表示内容が文字のみで無機質でしたので、今回は可愛い絵を入れたサインを付けたいとのお要望がありました。

サインを納めさせて頂いた時期が運動会間近だったので、その日に間に合うようにと何度も打ち合わせを繰り返しました。最終的に園長先生をはじめ、職員の皆様と全員で集まって打ち合わせをさせて頂いたのも良い思い出です。打ち合せをしっかりとすることで、納得のいく可愛いサインに仕上がりました。

職員の皆様にも喜んで頂けて嬉しい限りです。

今回の物件は、保育園様から直接お問い合わせを頂き、私に対応したことがきっかけで納品まで携わらせて頂きました。なかなか直接お取引させて頂く機会も少ないので、自分自身とても良い経験になりました。このサインを納めさせて頂いた後も、前回良かったからまた追加で欲しいとご注文を頂くことができ、とても嬉しかったです。

今後もより良いサインを提案し、様々な要望に対応できるように努めてまいりますので、宜しく願ひ致します。

京都本社：廣川 匠

案内板



トイレサイン



ピクトサイン



室名サイン





## まめ知識 コ～ナー

今回は「バリ取り」についてご紹介をします。



今回は「バリ」の取り方についてご紹介したいと思います。

まず、バリというのを皆さんはご存知でしょうか？ 基本的にアルミの板や、アクリルの板を切るときに生じ、切った部分の角が立ち、触るとケガをする恐れのある部分です。そのままですと、ご使用していただくお客様がケガをする恐れがある為、そのバリの部分を取らなければいけません。

ではどのようにバリを取るかを、素材別に分けて3種類の道具と方法をご紹介します。



まずはこちら、アルミ板のバリ取りです。

こちらはアルミ板を切った際に生じるバリを取る為に使用しており、刃の部分を使い滑らせるようにバリの部分を取ります。一回取ってもまだまだバリは残っているので、少しバリ取りの角度を変えて数回行くと残った部分も綺麗に仕上がります。



次はアクリルです。こちらはバリというよりは切った部分の面が鋭利で危ないのでこちらの面取りで仕上げます。取り方は簡単でカンナのように前から後ろに引くだけです。

取るときにシューッと音が鳴り、細い糸のように角の部分が取れると綺麗に仕上がったことが分かります。



最後はこちら、スチール複合板のバリ取りです。

こちらは先ほど説明したアルミのバリ取りではなかなか取れないので、刃を回転させて摩擦で削るイメージです。コツとしては少し斜めにして当てると綺麗に仕上がります。有線で動かすためコードを間違えて削ってしまわないように気を付けています。

一つ一つの商品をお客様がご使用いただくにあたってケガのないように、しっかりとバリを取っています。

京都本社：藤本 祐太

## 本会社見学 受付のおしらせ



フジタでは、よりフジタ製品を知って頂けるよう工場見学を始めました。  
カタログだけでは伝わらないフジタの魅力をぜひ観にいらして下さい。

受付期間：2017年4月24日～2017年11月17日(土・日・祝日を除く)  
見学開始時間：午前11時～、午後2時～

※1日2名4組までとし、法人の方に限らせて頂きます。  
※すでにお申し込みを頂いている場合や、機械メンテナンス等によりご要望にお応えできない場合もございます。予めご了承下さい。

# 京都めぐり



公式HP  
<http://www.shogunzuka.com>

フジタの社は京都にあります。  
 地元ならではの京都の魅力をご紹介します。

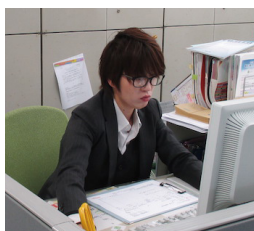
今回ご紹介させていただくのは「**将軍塚青龍殿**」です。

今回の京都めぐりは、京都市山科区にある将軍塚 青龍殿をご紹介します。  
 将軍塚とは、8世紀の末に桓武天皇が都を奈良から京都へ移されたときに、都の安泰を願って、甲冑（かっちゅう）を着せた高さ約2.5mの将軍の像が埋められた場所です。現在も約20m四方の将軍塚が現存しています。  
 将軍塚にある青龍殿境内の約3000坪の庭園には桜や紅葉の名所としても有名です。そんな将軍塚 青龍殿に2014年から京都の新観光スポットが誕生しました。その新スポットとは、清水寺の舞台の約4.6倍の広さ（延面積：1046m<sup>2</sup>）の木造大舞台です。この大舞台からは京都市内が一望でき、天気が良ければ大阪まで見える圧倒的なパノラマが広がっています。  
 春と秋には京都の夜景を見ることができるライトアップのイベントも行われます。また、舞台上にはガラスでつくられた「ガラスの茶室一光庵」があり、京都の街並みと重なり合いとても幻想的です。この茶室は2011年に開催された第54回ヴェネツィアビエンナーレ国際美術展Glasstress 2011に日本文化を象徴する茶室建築プロジェクトとしてデザインされました。  
 ……実は行きたい行きたいと思いつつ私はまだ訪れたことがないので、京都の紅葉が色づく頃に行きたいと思っています。予備知識はバッチリです。

京都本社：関根 なつき

## フジタスタッフの広場

事務：梅岡 晶子 入社17年目 京都本社勤務



こんにちは。事務を担当しております梅岡晶子と申します。  
 主に伝票などの入力業務をしております。  
 積み上がった書類が片付いた時の達成感が仕事のやりがいです。  
 フジタでの思い出深いエピソードは、フジタがテレビ取材を受けた時、カメラの前で会長が室名札の耐久性をやや乱暴に証明したことです。  
 継続して開発している新商品にも楽しいものがでていきますので、これからもフジタの製品を宜しく願いいたします。



カタログご請求・会社見学も随時受付しております。

詳しくはHPまで <http://www.fujitanet.co.jp>

新総合カタログVol15

2016年9月発行

本会社見学開始 受付中！

ECOへの取組み

フジタ京都本社にはソーラーパネルがあります！



3.11東日本大震災を契機に弊社でも、「限りある資源」を考え京都本社ビルに、ソーラーパネルを設置し、社内照明をLEDに変えました。オフィス内に電気使用量の測定器を取付けし、社員ひとりひとりのECOへの意識が高まっています。

お問い合わせ 株式会社 **フジタ** ご連絡を頂きましたら、担当者が迅速に対応いたします！

京都本社 Tel.075-592-7550 Fax.075-592-7524 東京支店 Tel.03-3556-6540 Fax.03-3556-6931  
 E-mail:info@fujitanet.co.jp E-mail:tokyo@fujitanet.co.jp



〒607-8147 京都市山科区東野森野町 46-4



〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 プライムビル 6F